

産業廃棄物の実態調査について

1 調査の概要（太字部分は、5年前の調査では実施していないもの）

（1）平成25年度における次の事項を廃棄物の種類別、業種別に把握する。

- ① 市内の産業廃棄物の発生（排出）量
- ② 市内で発生した産業廃棄物の処理状況（再生利用量，減量化量，最終処分量，処理方法別の量）
- ③ 市内，市外への産業廃棄物の流出入状況（都道府県別の量）

※ 市内で発生した産業廃棄物の埋立処分先（都道府県別の量）も把握する。

（2）併せて「**3次計画**」に掲げる**施策の効果や課題を確認することができる情報を収集する。**（追加的調査）

調査内容・手法については、次のような例を示し、公募型プロポーザルの参加者に提案してもらう。

- ① 排出事業者の意識調査
- ② 市内の産業廃棄物処理業者が製造したリサイクル製品に係る調査
- ③ 水銀含有産業廃棄物の排出量及び処理状況の実態把握調査

2 プロポーザルによる調査委託先の選定

応募のあった各社の企画提案書の内容等を審査し、委託先を選定する。

（1）審査予定日

平成26年7月29日（火）

（2）審査のポイント

- ・ 業務経験，技能・能力等
- ・ 追加的調査の内容や手法の妥当性・合目的性等
- ・ その他

（3）各社による追加的調査の提案状況（企画提案書）

A社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が実施する施策（「産廃チェック制度」ほか）の認知度と評価 ・ 水銀廃棄物の発生量，処理方法等 ・ 最終処分（再生利用含む）の確認方法，再生原料の使用状況
B社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法令遵守・適正処理に対する意識や減量・リサイクルの取組のほか，「産廃チェック制度」についての認識 ・ 有害物質（水銀及び鉛等）の使用，排出，処理，保管等の調査 ・ 適正処理や減量・リサイクルの推進に関する先進的事例の把握・分析
C社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排出事業者及び再生利用業者の意識調査 ・ リサイクル製品調査 ・ 建設部局，上下水道部局へのヒアリング調査